

平成28年11月 第14回教育委員会 議事録

開催日時 平成28年11月22日(火)  
 午前9時05分～午前11時57分  
 開催場所 南部町役場天萬庁舎 会議室  
 出席委員 細田委員長・井上委員長職務代行・森岡委員・板委員・永江教育長  
 説明員 板持教育次長、見世総務・学校教育課長  
 書記 角田  
 欠席委員 なし

	【開会 午後1時30分】
	【1. 互礼・開会】
	【2. あいさつ】
委員長	開会挨拶
	【3. 会期の決定】
委員長	会期を午前11時30分までとする。
	【4. 非公開案件の決定】
委員長	非公開案件の決定
	8. 報告Ⅱ 9. 協議Ⅱ
	【5. 報告Ⅰ】
次長	①月例報告
	行事日程表の説明
	会議案P1のとおり
	②事務局関係
次長	○各種大会結果について
	別添資料P1のとおり
次長	○南部町PTA連絡協議会要望について
	別添資料P1のとおり
次長	○「第9回南部町教育の集い」について
	当日配布資料P3～P8のとおり
課長	③総務・学校教育課関係
	○「まち未来会議」について
	別添資料P12のとおり
次長	④人権・社会教育課関係
	○生涯学習作品展について
	当日配布資料P9～P13
次長	⑤その他
	倉吉市からソーシャルワーカーの要請。支援に行く。早ければ来週くらいから1週間。
教育長	いじめ対策協議会、本町でも昨年、今年と少し気になる事案あり。教職員のいじめ認識の

	バラツキが心配。早急に教職員が同じ基準でいじめを認識できるように。
	点検評価委員会、おおむねよい評価をいただいた。
	SSWの派遣について。お互いのできることを自治体間で。
委員	いじめの捉え方、先生が目線合わせ。町としては、これからどうやっていかれるのか。
	横浜の事案、保護者の申告からだった。学校はいじめなしと認識。本町は、保護者からの申告があったとき、学校から町教委に報告はあるのか。
課長	平成26年、いじめの捉え方が変わった。ポイントとしては、
	いじめられている子がそう思ったら、いじめととらえる。
教育長	地教委との関係性、信頼関係があつてこそ。南部町は、地教委と学校との垣根が
	低くなっている。各校長が信頼をもって対応してもらっている。
委員	学校で協議したものは、数だけではなく、内容についても教育委員会へ上げて欲しい。
教育長	問題があると思われるものは、文書とともに報告が上がってくる。軽微だととらえられるもの
	(例えば、誤解、からかいなど)は数として上がってくる。教育委員会に直接申告があるもの
	はない。学校でまず、受け止めてもらっている。
委員長	周囲の大人が子どもの目線をきちんととらえる。
委員	PTA要望、てすり、危ないところがある。(会見小学校)
	最優先で対応すべき。
次長	当初予算に向けて協議していきたい。
委員	通学路など、継続して出ているものもある。担当課が違うものもあるのではないかと。
次長	担当課が違っていても一緒に協議できるようになった。
教育長	年一回は、まだ未実施のものがどれくらいあるかをきちんと出せるようにしたらいい。
委員	障がいがある人のPTA参加とは、どういうことか。要望されているのか。
次長	手話通訳の希望。
	【7. 議事 I】
	議案38号 承認
	【10. 協議 I】
	1)委員提案(報告)
委員	全体を通して小中連携の考え方は同じだと思った。自分自身でしっかりこないのは、小中の
	つながりがないところか。学校全体が同じ方向に向かっているのか。
	1つになってないのでは。繋ぎをどうするか、皆で考えていくこと。
	社会教育では、地域の力の話を聞いた。地域ももっと関わっていかねばいけない。
	CSと地域振興区はどう繋がっていくのか。まだまだ議論が足りない。
	繋ぎをどうするかが南部町の大きな課題。
教育長	1つずつの具体的な事例を通して作り上げていく。まち未来科、人権教育でも取り組んでいる。
	意識を変える。兼務発令をしていながら、相互の交流を。
	小中一貫、住民との声、二小のこと、中学校統合のこと、延長線上にどう考えていくのか。
委員	伯耆町SSWをつかった子どもの育成。高知、中学生の塾、経済的困難家庭への支援。
	いろいろな情報をどうとらえるのか。点で入ってくる情報を面で。
	就学援助率1割。平成30年にはCSを実施する。高知の取組み5年。義務教育後の
	情報が入らない。中学生になると塾がメインだと話された。学校に塾の申込書がある。

	塾の授業料は無料。講師は先生OB。文科省の予算を活用。
委員長	中学生の学習支援で塾という話もでていたので、この分科会に参加。
	支援が必要な家庭の子どもたちには参加して欲しいとの思いもあったが、高知市では文科省予算10/10。有効に使えれば。社会教育の研修としても良い研修だった。
教育長	心配な子どもたちを外へ。なかなかかゆいところに手が届きにくい。
	一番子どものことを知っているのは、学校、先生たち。小学生のころから学習する習慣をつけさせることから。
課長	防災教育の分科会に参加。南部町は各学校の教頭にまかされている。
	教頭のチーム会を開きたい。実態に即した訓練を。
委員	良い分科会だった。中学校の事例ばかり。小学校は？
委員	南中、法中ソフトボール部の件はどうなったのか。
課長	4月の合体は無理。お互いのチームを接近させることが難しい。今の中1、秋には合体させる方向で向かっていく。今の中2、4名、春からどうするのか。検討しなければならない。
委員	今後もこういう問題はおこってくる。
委員	学校の部活動の限界。地域もうまくかかわっていけないものがスポネットにでてくること少し懸念している。
教育長	外部指導者の問題、教育委員会も一緒になって考えていかないといけない問題。
委員長	スポ少、部活の基本的な考え方をきちんと理解していただく。
委員	保護者へきちんと今後の流れについて説明することも必要。
	2)事務局提案
	なし
	【11. 協議】
	なし
	【12. 今後の主な予定】
	会議案P4説明
	【13. 次回教育委員会開催日について】
	1)12月(第15回)定例教育委員会の開催について
	日時:12月19日(月) 午前 9 時 00分 ~
	会場: 南部町役場天萬庁舎 2F会議室
	2)12月(第16回)定例・臨時教育委員会の開催について
	12月中に
	【14. 互礼・閉会】
	午前11時57分